

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】出来形データ画面の説明（3D）

2023年5月29日更新

出来形データの画面について説明します。

［ファイル管理］の［連携］－［TREND-POINT］－［出来形ヒートマップ］に出来形ヒートマップファイル（拡張子「fph」）を登録後、操作してください。

TREND-POINTから出来形ヒートマップデータをアップロードする方法は、「その他アプリとの連携」－「[TREND-POINTとの連携](#)」の「TREND-POINT ⇄ CIMPHONY Plus連携」を参照してください。

目次

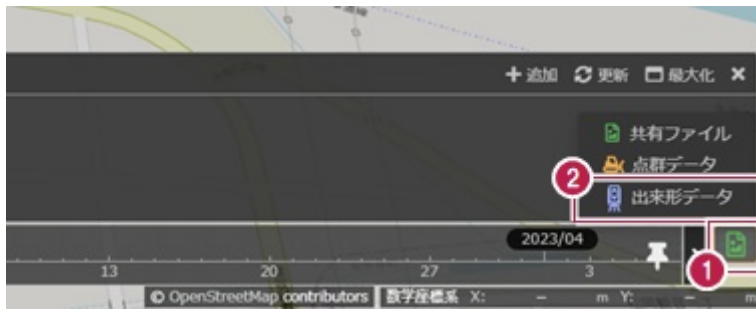
- ・ 出来形データを表示する
- ・ 出来形データ（検査）画面の説明

出来形データを表示する

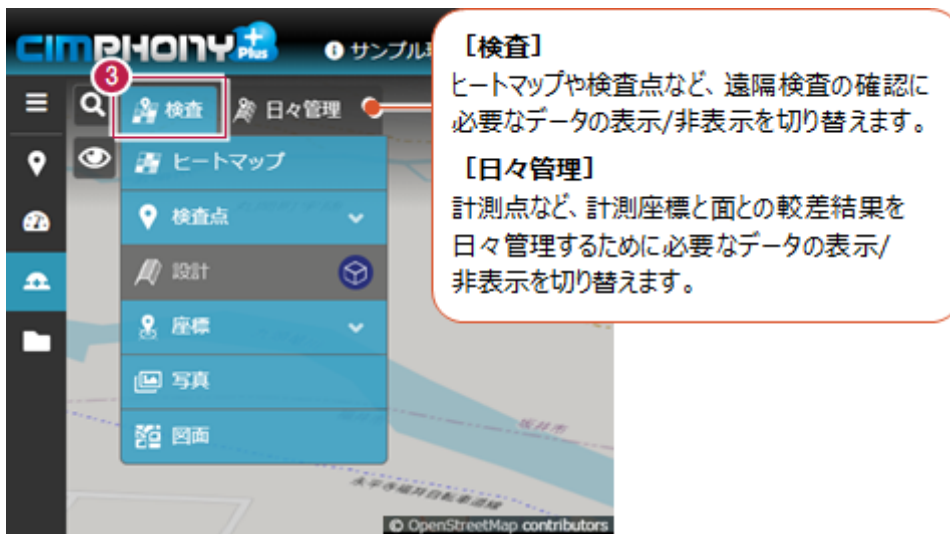
1. タイムライン右側のモード切り替えボタンをクリックします。

2. 〔出来形データ〕をクリックします。

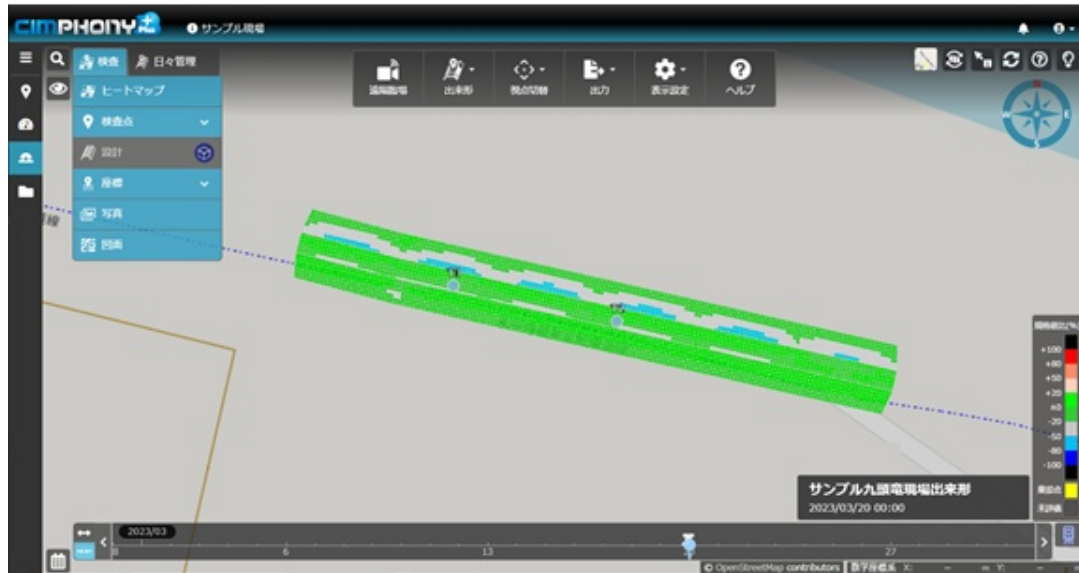
現場ビューア画面が出来形データ画面に切り替わります。



3.画面左上の「表示切替」で「検査」「日々管理」を切り替えます。
ここでは、「検査」を選択します。



4.タイムラインで水色のピンをクリックします。
出来形ヒートマップが表示されます。



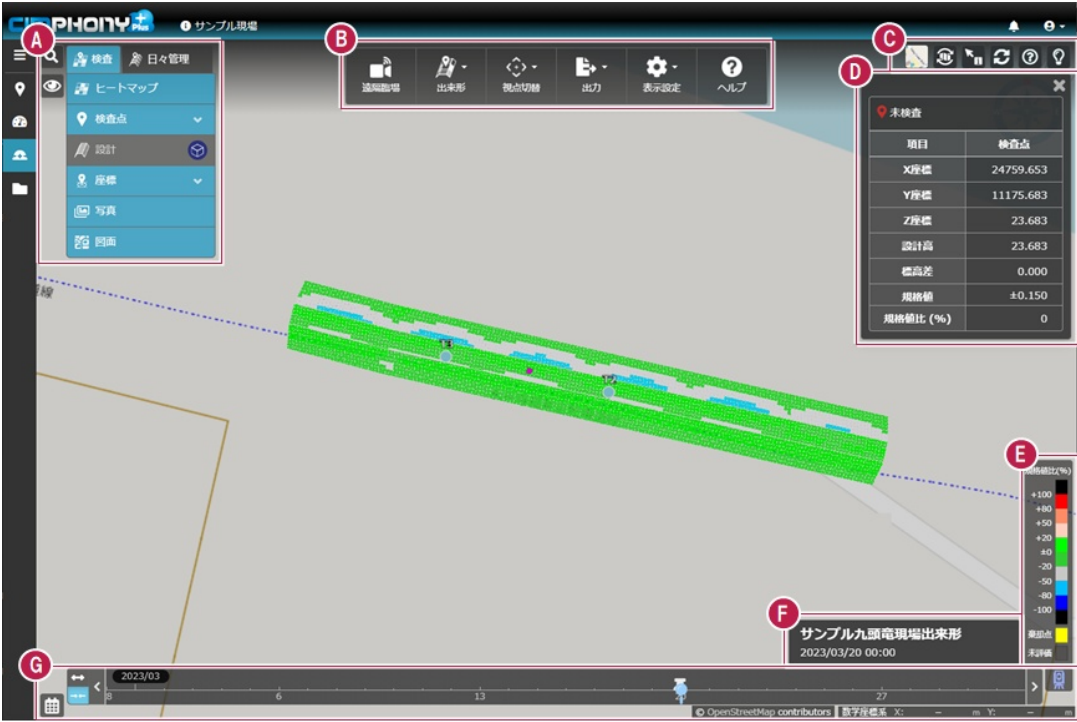
《3D補足》【日々管理】を選択した場合

【日々管理】では、FIELD-TERRACEから受信した計測座標を時系列で確認できます。

較差計算済みの計測日にはピンが表示され、計測結果を確認できます。



出来形データ（検査）画面の説明



A	検索	条件を指定して、該当する写真を現場ビューアに表示します。 ※出来形データ画面では、注釈・計測は表示されません。 ・ 【作成者】データを検索する
	表示切替	現場ビューア（出来形データ画面）に表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。 ・ 【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える（3D）
B	遠隔臨場	CIMPHONY Plusと連携した機器を管理します。 ・ 【作成者】遠隔臨場を行う
	出来形	FIELD-TERRACEと遠隔によるヒートマップ検査を行います。 計測座標と面との較差結果を日々管理することもできます。 ・ 【作成者】検査情報を設定する（3D）

		・ 【作成者】遠隔検査を行う（3D） ・ 【作成者】検査結果を確認する（3D） ・ 【作成者】計測点を確認する（3D） ・ 【作成者】計測結果を確認する（3D）
	視点切替	視点位置を指定した方向へ移動します。 視点を登録することもできます。 ・ 【作成者】視点を切り替える
	出力	現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 アカウントをお持ちでない方に期間限定で現場ビューアを公開するURLを発行することもできます。 ・ 【作成者】現場ビューアの画像を出力する ・ 【作成者】現場共有URLを発行する
	表示設定	検査点・標定点サイズの変更や、3Dデータの標高の調整を行います。 ・ 【作成者】検査点の表示設定を行う（3D） ・ 【作成者】図面の表示設定を行う ・ 【作成者】3Dデータの標高を補正する（3D）
	ヘルプ	現場ビューア（出来形データ画面）の各コマンドの概要を表示します。
③	地図の切り替え 	背景の地図の種類を選択します。 ・ 地図を切り替える
	背景の表示/非表示 	現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。
	ファイル情報表示/非表示  ※タブレット端末では表示されません。	表示  設計、図面の上にマウスを移動した時に、マウスポインター右下にファイル情報（ファイ種別、ファイル名、登録・測量日時・登録者）を表示します。 非表示  ファイル情報を表示しません。
	更新 	現場ビューアを最新の状態に更新します。

	操作ヘルプ 	画面操作の方法を表示します。
	画面の説明 	画面の説明を表示します。
D	プロパティ	現場ビューアのヒートマップをクリックすると表示されます。 検査点の座標値や標高差、規格値比（%）などの情報を確認できます。
E	カラーバー	ヒートマップに対応したカラーバーが表示されます。 ヒートマップがない場合、カラーバーは非表示になります。
F	検査データダイアログ	現場ビューアに表示されている出来形ヒートマップのファイル名、検査日時が表示されます。 検査日に検査データが複数ある場合、現場ビューアに表示する検査データをリストから選択できます。
G	カレンダーから選択 	カレンダーから日付を選択します。 ・ 【作成者】タイムライン-日付選択
	タイムライン 	登録データを時系列順に確認できます。 日付を選択すると、登録データが現場ビューアに表示されます。 ・ 【作成者】タイムライン-日付選択 ・ 【作成者】タイムライン-表示期間の切り替え
	モード切り替え 	現場ビューアのモードを切り替えます。 ：共有ファイル ：点群データ ：出来形データ ・ 【作成者】現場ビューア画面の説明
	座標情報	座標系とマウス位置の座標値が表示されます。 数値座標系 X: 24868.841 m Y: 11147.213 m ・ 座標値が「-9999999.999」～「+9999999.999」の範囲外の場合、座標値は表示されません。 ・ タブレット端末の場合、最後にタップした位置の座標値が表示されます。

《3D補足》 未評価箇所を選択した場合

端部ではない未評価箇所を選択した場合、プロパティの[Z座標]は[未評価]になり、[標高差]と[規格値比(%)]は[計算不可]になります。



端部の未評価箇所を選択した場合、プロパティの[Z座標]は[未評価]、[規格値]は[－]になり、[標高差]と[規格値比(%)]は[計算不可]になります。



※ TREND-POINTで評価控除した箇所は、CIMPHONY Plusでは未評価箇所として扱われます。

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える（3D）

2023年5月29日更新

現場ビューア（出来形データ画面）に表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。

- 1.画面左上の「表示切替」で「検査」「日々管理」を選択します。
- 2.各要素ボタンをクリックして、オン・オフを切り替えます。



各要素ボタンが表示されない場合は、
「表示切替」をクリックして表示してください。

《3D補足》設計データの表示/非表示を切り替える

「[検査]」を選択している場合は、「[設計]」の右側のボタンをクリックすると、「[線（ワイヤー）のみ]」「[面+線（ワイヤー）]」「[面のみ]」の切り替えができます。

※出来形ヒートマップの検査日のみ表示されます。

「[日々管理]」を選択している場合は、設計データ（三角網、中心線形、測点名、横断線）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

また、「[三角網]」の右側のボタンをクリックすると、「[面+線（ワイヤー）]」「[面のみ]」「[線（ワイヤー）のみ]」の切り替えができます。



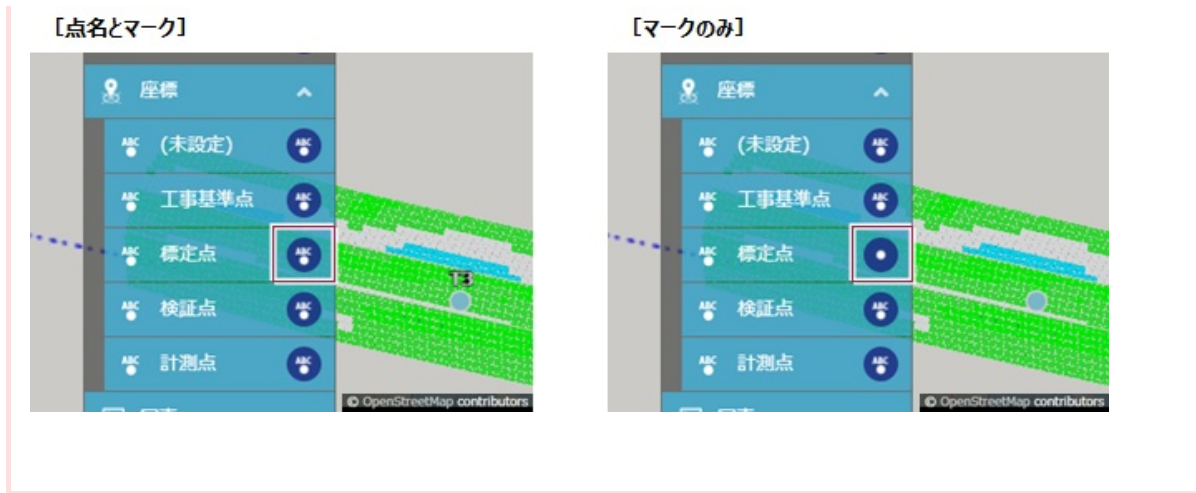
《3D補足》座標点の表示/非表示を切り替える

「[座標]」は座標種別（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

※「[日々管理]」を選択している場合は、計測点の未計算、設計範囲外、計算済を切り替えることもできます。

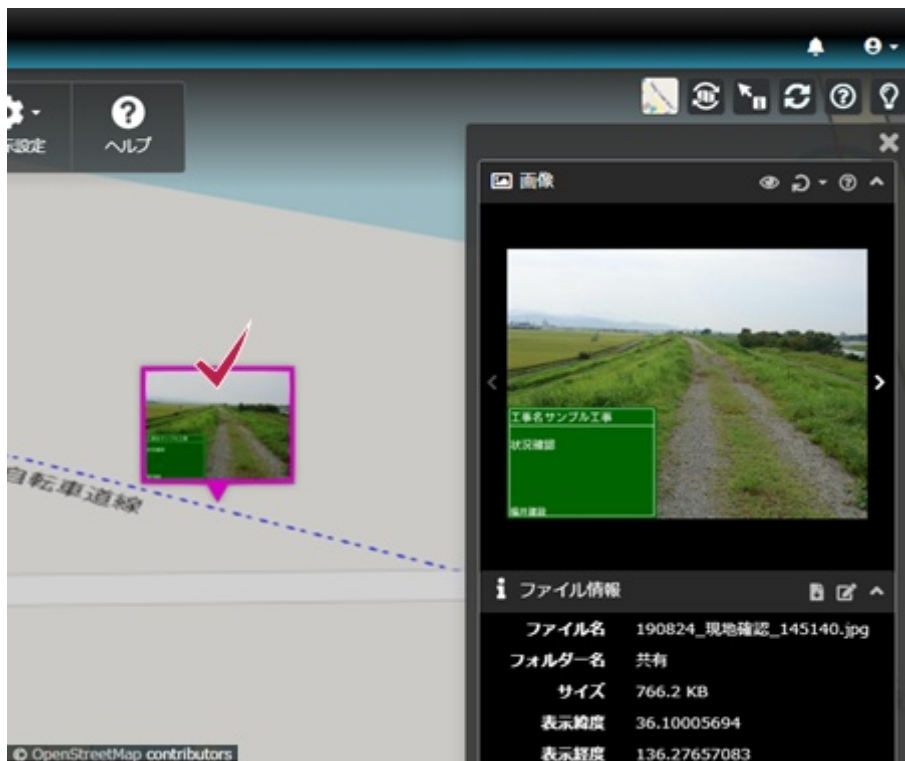
また、座標種別の右側のボタンをクリックすると、「[点名とマーク]」「[マークのみ]」の切り替えができます。

座標種別の設定方法は、「[【作成者】座標点を配置する](#)」を参照してください。



《3D補足》写真のファイル情報を確認する

現場ビューアの写真をクリックすると、ファイル情報を確認できます。
 ファイル情報の詳細は、「[【作成者】ファイルを確認する](#)」を参照してください。



《3D補足》図面の表示について

ファイル情報の「現場ビューア」が「表示する」になっている図面データが表示されます。

設定方法は、「[【作成者】ファイル情報を編集する](#)」の補足「「図面」フォルダーのファイル情報編集について」を参照してください。

図面が正しい位置に表示されない場合は、「[【作成者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える](#)」の補足「図面が正しい位置に表示されない場合」を参照してください。

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】 検査情報を設定する（3D）

2023年5月29日更新

遠隔検査を行うための基本情報や実施者を設定します。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで検査データが登録されている日付を選択後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。
2. 「検査情報」をクリックします。



3. 「基本情報」を入力します。
（*は入力必須項目です。）
4. 「実施者」の「追加」をクリックします。

検査情報

CIMPHONY Plus と FIELD-TERRACE でヒートマップ検査を行います。
実施者に CIMPHONY Plus での検査点指定者と FIELD-TERRACE での現地計測者を設定してください。

主催者を入力してください。
実施者を一人以上追加してください。

3

基本情報

検査名 サンプル九頭竜現場出来形

主催者 横井 太郎

検査日時 2020/12/10 15:06

備考

実施者

4

実施者が登録されていません。
右上の追加ボタンから追加してください。

検査データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル九頭竜現場出来形.fph	連絡/TREND-POINT/出来形ヒートマップ

キャンセル OK

5. 検査を実施するユーザーのチェックをオンにします。

6. [OK] をクリックします。

実施者追加

現場招待者から検索 氏名、会社名（漢字・カナ）

5

氏名	会社名
☒ 横井 太郎	横井コンピュータ株式会社
☒ 横井 次郎	横井コンピュータ株式会社

現場の参加者からユーザーを検索できます。

現場に招待されているユーザーが一覧表示されます。
CIMPHONY Plusでの検査点指定者と
FIELD-TERRACEでの現地計測者を
指定してください。

6

OK

7. [OK] をクリックします。

検査情報

CIMPHONY Plus と FIELD-TERRACE でヒートマップ検査を行います。
実施者に CIMPHONY Plus での検査点指定者と FIELD-TERRACE での現地計測者を設定してください。

主催者を入力してください。
実施者を一人以上追加してください。

基本情報		実施者	
検査名	サンプル九頭竜現場出来形	氏名	会社名
主催者	福井 太郎	福井 太郎	福井コンピュータ株式会社
検査日時	2020/12/10 15:06	福井 次郎	福井コンピュータ株式会社
備考			

検査データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル九頭竜現場出来形.fph	連続/TREND-POINT/出来形ヒートマップ

追加した実施者を削除する場合は、
[×] をクリックしてください。

キャンセル OK

8. [×] をクリックして設定を終了します。

検査情報

CIMPHONY Plus と FIELD-TERRACE でヒートマップ検査を行います。
実施者に CIMPHONY Plus での検査点指定者と FIELD-TERRACE での現地計測者を設定してください。

編集

基本情報		実施者	
検査名	サンプル九頭竜現場出来形	氏名	会社名
主催者	福井 太郎	福井 太郎	福井コンピュータ株式会社
検査日時	2020/12/10 15:06	福井 次郎	福井コンピュータ株式会社
備考			

検査データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル九頭竜現場出来形.fph	連続/TREND-POINT/出来形ヒートマップ

実施者にメール

【編集】
設定を編集します。

【実施者にメール】
現場検査への参加招待メールを作成します。
宛先やCCを設定して、招待メールを送信してください。

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】遠隔検査を行う（3D）

2023年5月29日更新

TREND-POINTから出力した検査データをもとに、FIELD-TERRACEとの双方向通信でヒートマップ検査を行います。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで検査データが登録されている日付を選択後に操作してください。

FIELD-TERRACEでの操作については、「その他アプリとの連携」－「[FIELD-TERRACEとの連携](#)」の『ハンドブック「遠隔検査（CIMPHONY Plus連携）」』を参照してください。

1. 「出来形」をクリックします。

2. 「遠隔検査」をクリックします。

※検査情報の設定画面が表示された場合は、各項目を設定してください。

設定方法は、「[【作成者】検査情報を設定する（3D）](#)」を参照してください。



3. 「検査開始」をクリックします。

検査情報

CIMPHONY Plus と FIELD-TERRACE でヒートマップ検査を行います。
実施者に CIMPHONY Plus での検査点指定者と FIELD-TERRACE での現地計測者を設定してください。

基本情報

検査名 サンプル九頭竜現場出来形
主催者 福井 太郎
検査日時 2020/12/10 15:06
備考

検査データ

ファイル名	フォルダー名
サンプル九頭竜現場出来形.fph	連携/TREND-POINT/出来形ヒートマップ

実施者

実施者にメール

氏名	会社名
福井 太郎	福井コンピュータ株式会社
福井 次郎	福井コンピュータ株式会社

現場検査への参加招待メールを作成します。
宛先やCCを設定して、招待メールを送信してください。

3 検査開始

※以降は、FIELD-TERRACEとの双方向通信で操作します。

操作方法は、「その他アプリとの連携」－「[FIELD-TERRACEとの連携](#)」の『ハンドブック「遠隔検査（CIMPHONY Plus連携）」』を参照してください。

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】 検査結果を確認する（3D）

2023年5月29日更新

検査結果を確認します。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで遠隔検査を行った日付を選択後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

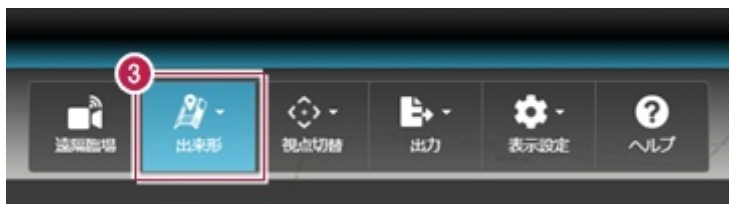
2. 「検査結果一覧」をクリックします。

検査済みの点が一覧表示されます。





3. [出来形] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。

						× 終了
座標	設計面標高	標高較差	規格値	規格値比 (%)	判定	
23.675	23.667	0.008	±0.150	5	○	
23.673	23.673	0.000	±0.150	0	○	

| 作成者 - 出来形 |

【作成者】計測点を確認する（3D）

2023年5月29日更新

計測点を確認します。

計測点はFIELD-TERRACEと連携することで自動取得します。

FIELD-TERRACEとの連携方法については、「その他アプリとの連携」－「[FIELD-TERRACEとの連携](#)」の『ハンドブック「遠隔検査（CIMPHONY Plus連携）」』の「3-1.CIMPHONY Plusと連携する」を参照してください。

※FIELD-TERRACEとの連携で自動取得した計測点は「座標管理」に登録されます。

※「座標管理」で座標SIMAデータ読み込み時に「座標種別」を「計測点」に設定した計測点も確認できます。

1. 「出来形」をクリックします。

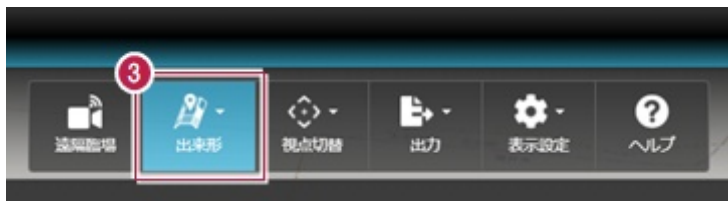
2. 「計測点一覧」をクリックします。

取得した計測点が一覧表示されます。





3. 「出来形」をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」をクリックしてコマンドを終了することもできます。

		更新		計測結果一覧へ	× 終了
	Y座標	Z座標	規格値	計算状況	計測日時
399	11146.515	22.145	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29
021	11145.714	22.185	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29

《3D補足》計測点を編集、削除、較差計算する

計測点一覧ダイアログで、チェックをオンにした計測点を編集、削除、較差計算できます。

No	表示	点名	X座標	Y座標	Z座標	規格値	計算状況	計測日時
1	☐	KH-1	24775.399	11146.515	22.145	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29
2	☐	KH-2	24767.021	11145.714	22.185	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29
3	☐	KH-3	24748.682	11156.088	21.834	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29
4	☐	KH-7	24774.208	11165.670	22.081	±0.190	計算済	2023/03/20 18:29

☒ 全選択
 ☐ 全解除
 ☐ 一括表示
 ☐ 一括非表示
 編集
削除
較差計算

【編集】

編集する項目のチェックをオンにして、[表示] [計測日時] [規格値] を設定します。

規格値を変更すると、計測点一覧の [計算状況] が [未計算] になります。

編集

☒ 表示 ☐ する ☐ しない

☒ 計測日時 2023/03/20 18:29

☒ 規格値

☒ 左側: -0.190
 ☐ 右側: 0.190

☐ -∞
 ☐ ∞

規格値左側

最小値を入力 (-99.999~0) 、
または [-∞] を選択します。

規格値右側

最大値を入力 (0~99.999) 、
または [∞] を選択します。

【削除】

計測点を削除します。

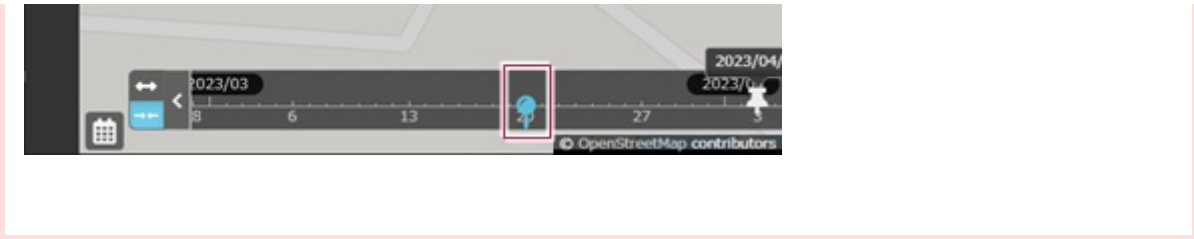
座標一覧からも削除されます。

【較差計算】

選択した計測点が [未計算] または設計ファイルが変更された場合に、X・Y座標と一致する設計面との較差を計算して、計測点一覧の [計算状況] に結果を表示します。

規格値が設定されている場合は、規格値比からも判定します。

較差計算済みの計測日にはピンが表示されます。



| 作成者 - 出来形 |

【作成者】計測結果を確認する（3D）

2023年5月29日更新

計測結果を確認します。

「計測点一覧」で「較差計算」を実行後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

2. 「計測結果一覧」をクリックします。

計測結果が一覧表示されます。

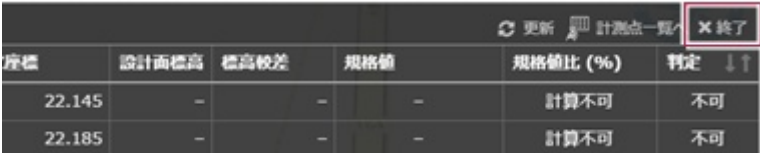




3. 「出来形」 をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」 をクリックしてコマンドを終了することもできます。



| 作成者 - 出来形 |

【作成者】 検査点の表示設定を行う（3D）

2023年5月29日更新

検査点の文字サイズ、マークサイズを設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [検査設定] をクリックします。



3. [点名の文字サイズ] [マークサイズ] を設定します。
 4. [確定] をクリックします。
- 現場ビューアの検査点に設定が反映されます。



【点名の文字サイズ】

点名の文字サイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【マークサイズ】

マークのサイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点名のサイズを自動調整します。

縮小したときはサイズが小さく、拡大したときはサイズが大きくなります。